

HILinQS -App Editor- 操作マニュアル

目次

利用規約

1. HILinQS -App Editor- 概要
2. HILinQS -App Editor- のインストール
3. HILinQS -App Editor- の起動
4. 閲覧モード
 - 4-1. 表示画面の説明
 - 4-2. 階の変更
 - 4-3. 検討条件
 - 4-4. 型式数量
 - 4-5. 閲覧モード、編集モード
 - 4-6. ファイルメニュー
 - 4-7. 表示メニュー
 - 4-8. 機能メニュー
 - 4-9. 過去の結果
 - 4-10. ブラウザ版
 - 4-11. ヘルプ
5. 編集モード
 - 5-1. 孔位置変更
 - 5-2. 孔位置追加
 - 5-3. 孔位置削除
 - 5-4. 自動変更
 - 5-5. 保存
 - 5-6. 階の変更
 - 5-7. 検討条件
 - 5-8. 型式数量
 - 5-9. ファイルメニュー
 - 5-10. 表示メニュー
 - 5-11. 機能メニュー
 - 5-12. ブラウザ版
 - 5-13. ヘルプ
6. 出力

利用規約

HILinQS-App Editor-（マニュアルを含み、以下、「本ソフトウェア」とします）の利用につきましては、本利用規約に必ず同意のうえご利用ください。

第1条 総則

本ソフトウェアの著作権その他一切の権利はセンクシア株式会社(以下、当社)または当社のライセンサーに帰属しており、日本国内外の著作権法およびその他知的財産権に関する法律、ならびに条約によって保護されています。本ソフトウェアは、本書の条件に従い、当社からお客様に対して使用許諾されるものです。

第2条 使用权

当社は、個人利用、商用利用を問わずハイリングⅢ工法及びボジリング工法の梁貫通孔部適用可否判定を行うために、無料で本ソフトウェアをコンピュータにインストールして使用する権利をお客様に許諾します。

第3条 使用条件

- 1、お客様は、本書で許諾されている目的および範囲でのみ本ソフトウェアを使用するものとし、これを超えて、または反して本ソフトウェアを使用しないものとします。
- 2、お客様は、本ソフトウェアの改変、二次著作物の創作、本ソフトウェアの一部または全部と他のプログラムとの結合を行ってはなりません。
- 3、お客様は、本ソフトウェアの複製、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルを行ってはなりません。
- 4、お客様は、本ソフトウェアに秘密情報やノウハウが含まれていることを認識するものとし、これらの秘密情報やノウハウを使用せず、本ソフトウェア、秘密情報およびノウハウのいかなる部分であっても、第三者に開示、譲渡、またはその他の手段によって提供しないものとします。
- 5、お客様は、本ソフトウェアから、この使用条件及び著作権表示の全部又は一部を削除してはいけません。
- 6、お客様は、本ソフトウェア（その複製物を含む）の輸出に際し、輸出元国の法令を遵守することとし、輸出許可が必要な場合は輸出許可を取得して輸出するものとします。

第4条 危険を伴う行為、活動

本ソフトウェアは、障害発生に対応する機能を有しておらず、かつ、原子力施設の運転、航空機の誘導、通信システム、航空管制、直接的な生命維持装置など、本ソフトウェアが死亡事故、人的災害、あるいは身体や環境への重大な悪影響につながる危険な環境での使用の目的で設計、製造されたものではなく、これらの使用を意図しているものではありません。

第5条 無保証

- 1、お客様は、本ソフトウェアをご自身の責任において使用してください。本ソフトウェアは現状有姿にて提供されるものであり、当社と当社のライセンサー（本条において、あわせて「当社」とします。）は、商業性、特定の目的への適合性の黙示の保証を含め、明示であるとも黙示であるとも問わず何等の保証をいたしません。
- 2、当社は、本ソフトウェアに含まれる機能が、お客様の要求を満たすものであることや、本ソフトウェアの稼動が中断されないことを保証しません。さらに、当社は、本ソフトウェアの使用や使用結果の正確性、精密性、信頼性などについて保障しません。
- 3、当社や当社が認める代理人により提供される口頭または書面の情報やアドバイスは、当社による何らかの保証とみなされるものではなく、また、いかなる場合も本契約に定める保証の範囲を広げるものではありません。
- 4、予告なく本ソフトウェアの仕様等の変更を行うことがあります。お客様は、当社サイトにて配布する最新版の本ソフトウェアを使用しなければなりません。
- 5、本ソフトウェアは本ソフトウェアに記載されている特定のバージョンのOS以外のOSで使用する目的で設計されていません。当社は、本ソフトウェアによって、お客様のコンピュータやコンテンツ、データ、ソフトウェアに損害が生じないことを保証いたしません。

第6条 第三者に対する責任

お客様が本ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の権利の侵害を理由として紛争を生じたときは、お客様が自らの費用でこれを解決するものとし、当社および当社のライセンサーは一切の責任を負わないものとします。

第7条 契約の解除

- 1、当社は、以下の場合、直ちに本契約を解約することができるものとし、解除によってお客様に生じた損害について責任を負いません。
 - ①お客様が、本契約に定める条項に違反した場合
 - ②お客様またはその役員が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条に定義される暴力団、指定暴力団、指定暴力団連合、暴力団員若しくはこれらの関連者、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等若しくはこれらに準ずる者又はその構成員に該当することが判明した場合
- 2、前項の規定により本契約が終了した場合には、お客様は直ちに本ソフトウェアの全てを廃棄、返却するものとします。

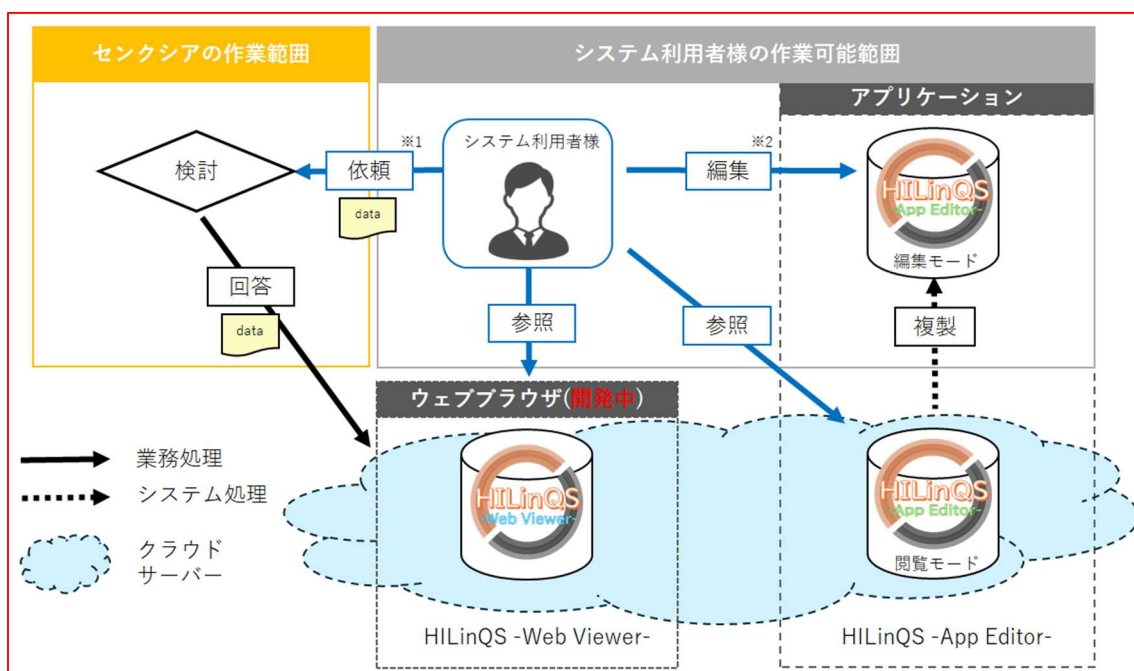
第8条 その他

- 1、本契約の一部条項が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存在するものとします。
- 2、本契約に定めのない事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 3、本ソフトウェアの許諾条件は、ホームページまたはその他の方法によって通知することによって、当社の裁量において、変更することができるものとします。お客様が変更内容にご同意できない場合には、変更条件の効力が発生する前に、本ソフトウェアのご使用を中止し、破棄、返却してください。引き続き本ソフトウェアをご使用される場合には、変更内容に同意されたものとみなします。

1. HILinQS -App Editor- 概要

HILinQS はハイリングⅢ工法、ポジリング工法を用いる梁貫通孔部の適用可否判定結果を確認するためのソフトウェアです。

HILinQS -Web Viewer- はウェブブラウザ上で適用可否判定結果を確認する事が出来ます（開発中）。一方、HILinQS -App Editor-は専用アプリケーション上で適用可否判定結果の確認、孔情報の変更による適用可否判定の変化を確認することが出来ます。



※1 センクシアへの検討依頼には、スリーブ図(DXF,DWG等)、梁部材リスト (DXF,DWG等)、構造図が必要となります。

※2 HILinQS -App Editor-はクラウド上のデータを変更する事が出来ません。変更しても他のシステム利用者様には共有されませんのでご注意ください。

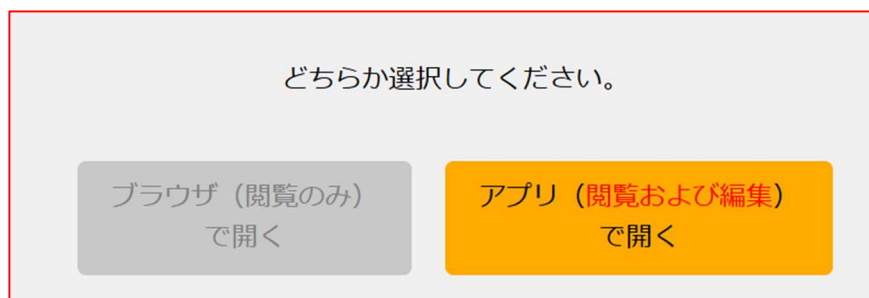
※2 HILinQS -App Editor-で孔情報を変更後、最終決定前に必ずセンクシア（株）へ確認依頼を行ってください。

※2 HILinQS -App Editor- のファイルを用いて、孔情報の変更依頼を行う際、変更した元データ(スリーブ図)も併せてセンクシア（株）へ送付いただくようお願いいたします。

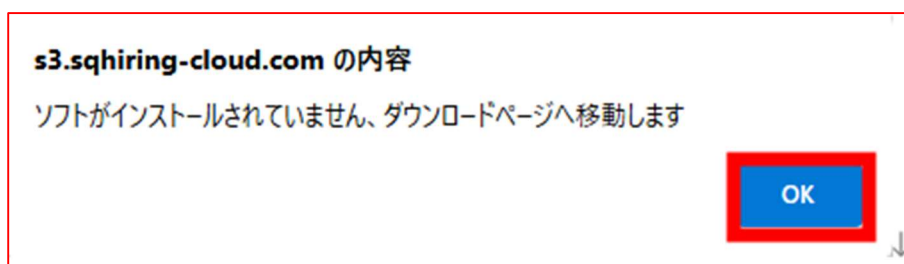
2. HILinQS -App Editor- のインストール

2-1. 弊社担当者から配布された URL へアクセスして下さい。

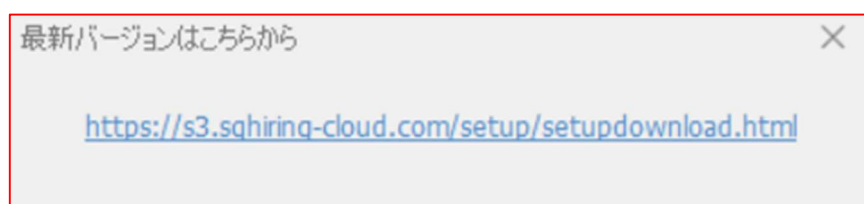
2-2. アプリを選択して下さい。



2-3. 下記メッセージが表示されますので OK をクリックして下さい。



2-4. 下記メッセージが表示されますので URL クリックして下さい。



2-5. 下記メッセージが表示されますので セットアップファイルをダウンロード をクリックして下さい。

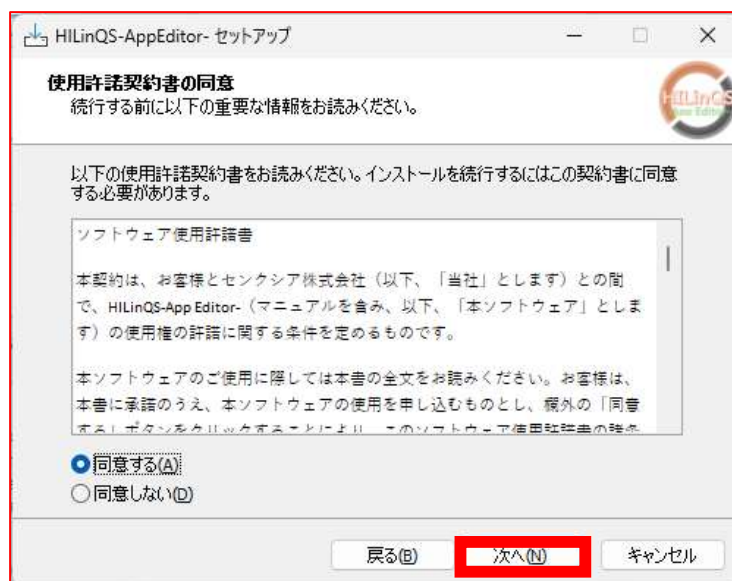
以下のリンクをクリックすると、ファイルがダウンロードされます:
[セットアップファイルをダウンロード](#)

2-6. HILinQS-App Editor-ver～.exe をダウンロード完了後、実行すると下記、画面が表示されますので次へを選択して下さい。

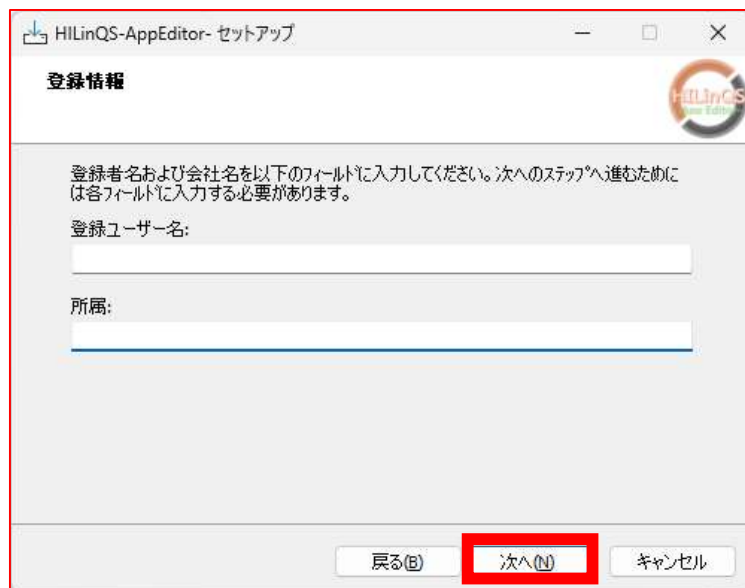


2-7. 使用許諾契約書の同意の画面に移ります。

使用許諾契約書の内容を確認し、同意するにチェックを入れて次へを選択して下さい。



2-8. 登録情報を入力して下さい。



HIInQS-AppEditor- セットアップ

登録情報

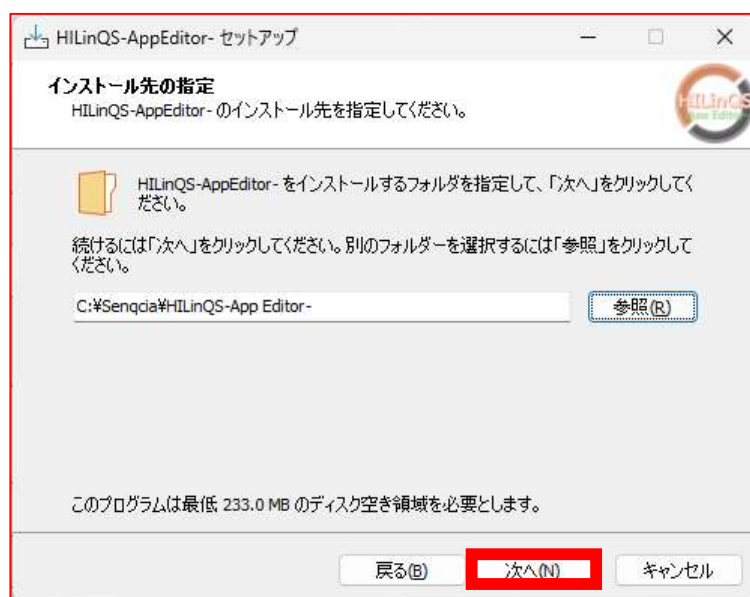
登録者名および会社名を以下のフィールドに入力してください。次へのステップへ進むためには各フィールドに入力する必要があります。

登録ユーザー名:

所属:

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

2-9. インストール先を指定して次へを選択して下さい。



HIInQS-AppEditor- セットアップ

インストール先の指定

HIInQS-AppEditor- のインストール先を指定してください。

 HIInQS-AppEditor- をインストールするフォルダを指定して、「次へ」をクリックしてください。

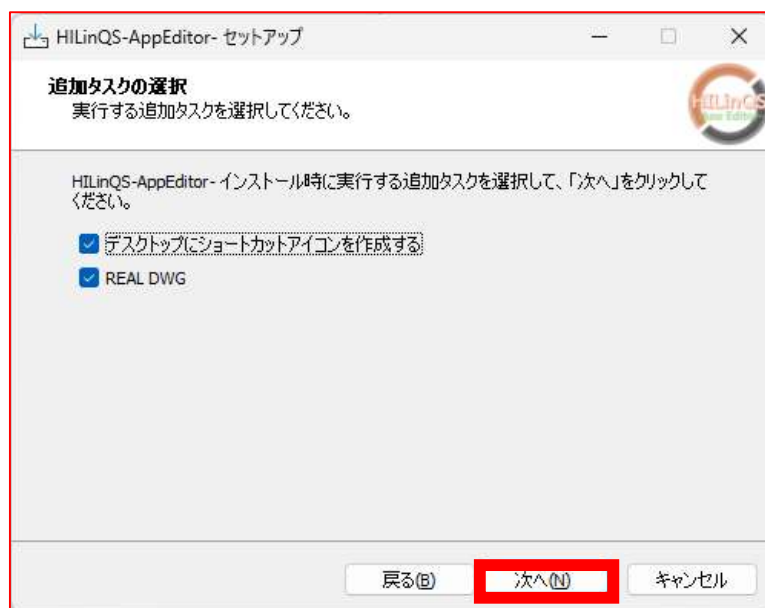
続けるには「次へ」をクリックしてください。別のフォルダーを選択するには「参照」をクリックしてください。

C:\Senqia\HIInQS-App Editor- 

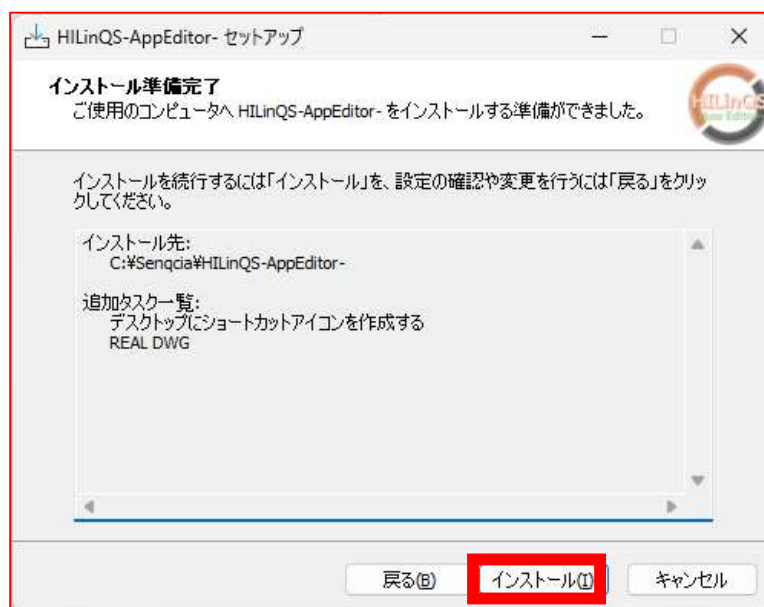
このプログラムは最低 233.0 MB のディスク空き領域を必要とします。

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

2-10. REAL DWG にチェックが入っていることを確認し、次へを選択して下さい。



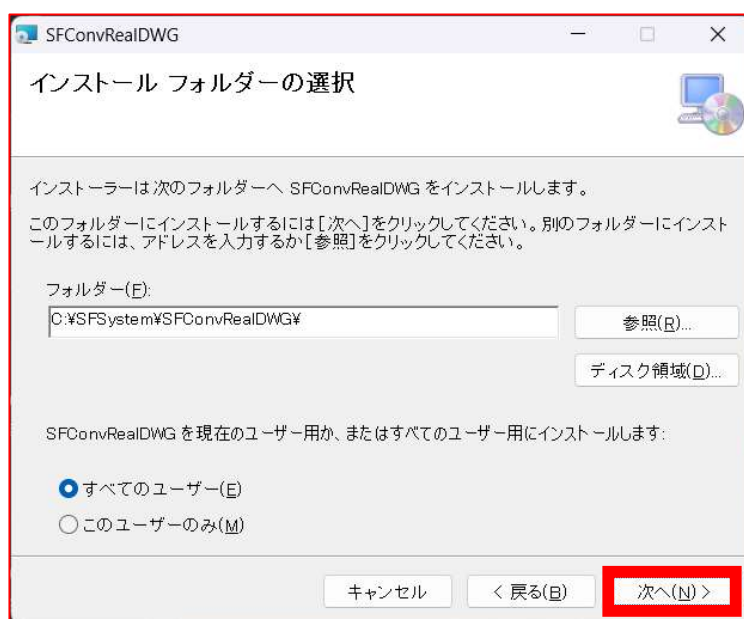
2-11. インストール準備完了画面に移りますのでインストールを選択して下さい。



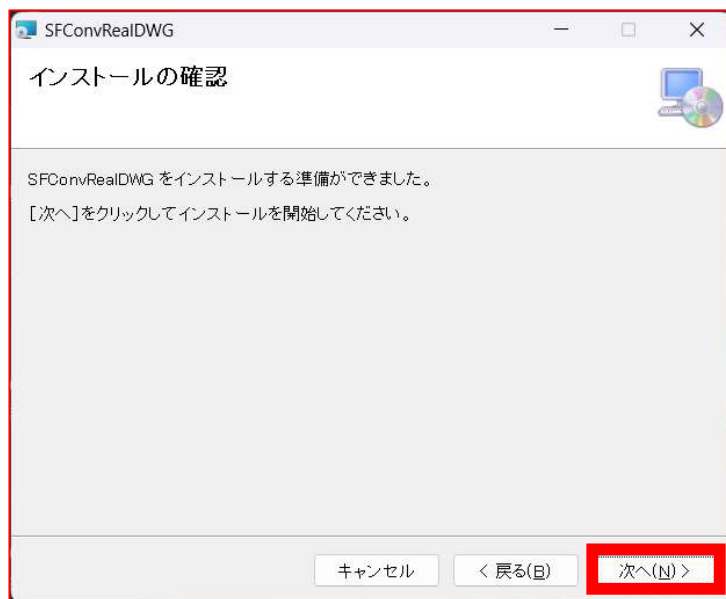
2-12. 追加タスクのインストールを行いますので、次へを選択してください。



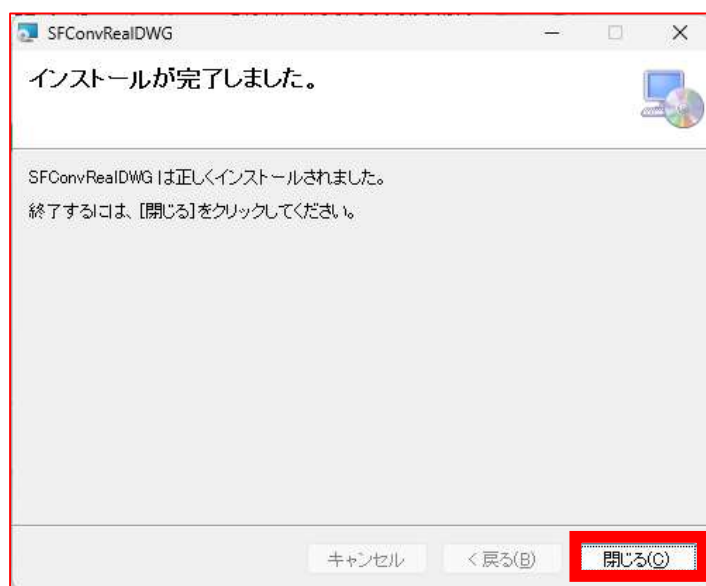
2-13. インストールフォルダを選択し、次へを選択してください。



2-14. 次へを選択してください。



2-15. 閉じるを選択してください。



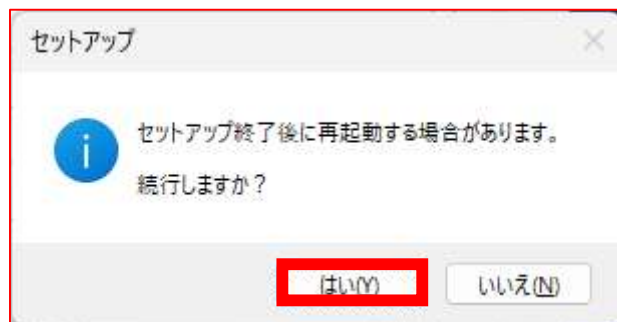
2-16. 完了を選択してください。



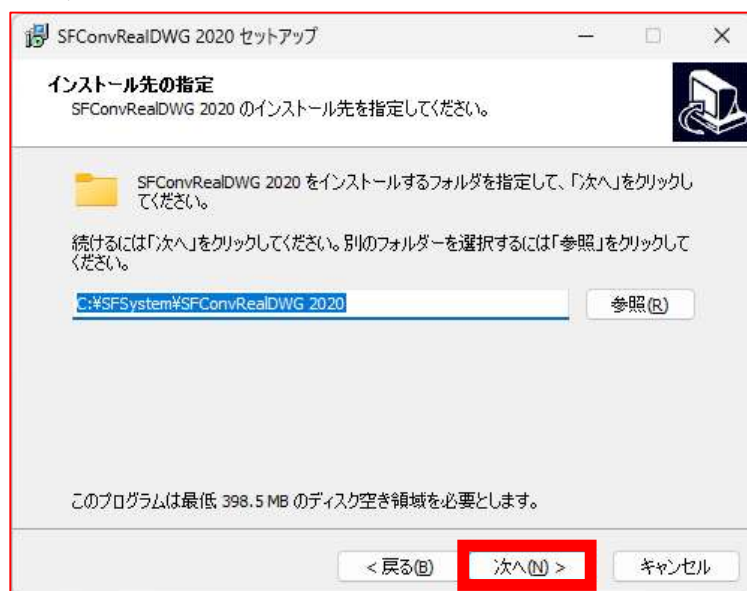
2-17. 次へを選択してください。



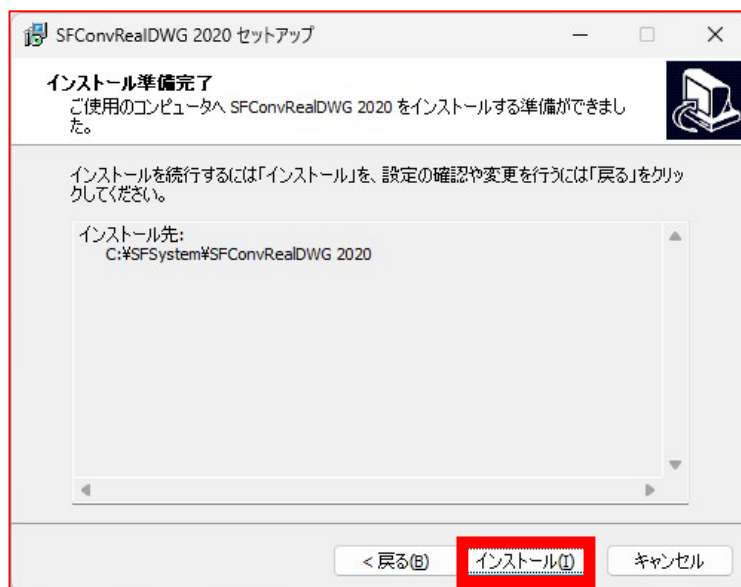
2.18. はいを選択してください。



2.19. 次へを選択してください。



2-20. インストールを選択してください。



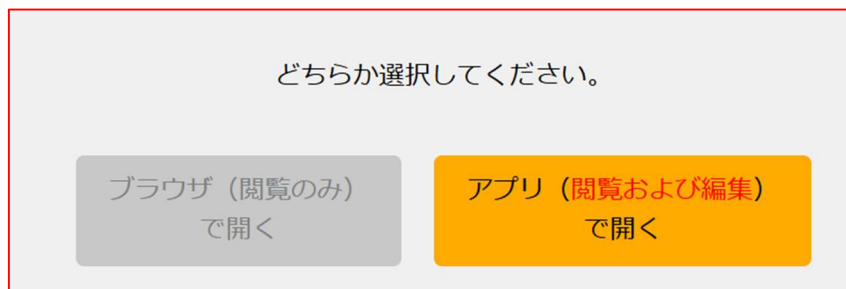
2-21. 完了を選択してください。インストール終了です。



3. HILinQS -App Editor- の起動

3-1. 弊社担当者から配布された URL にアクセスして下さい。

3-2. アプリを選択して下さい。



3-3. ユーザー認証を行います。

ご自身のメールアドレス、物件ごとに発行されるパスワードを入力し、「認証」をクリックしてください。



3-4. 利用規約をご確認の上、「同意する」をクリックしてください。

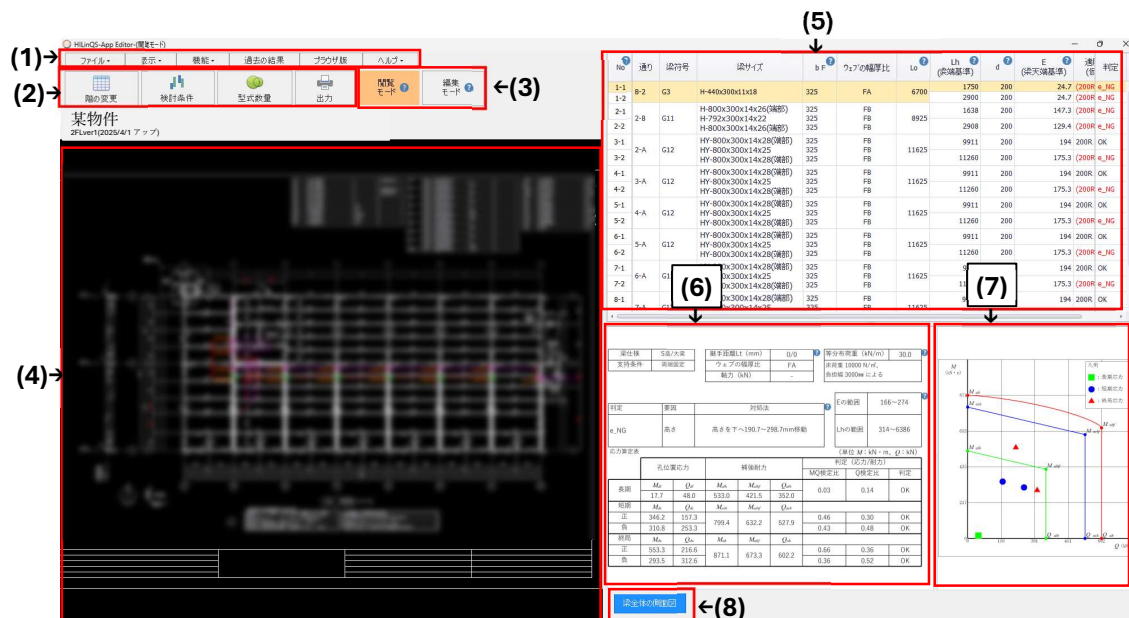


3-5. アプリが起動します。

4. 閲覧モード

4-1. 表示画面の説明

本プログラムのウィンドウは下図の構成となっています。



? ヘルプマークにカーソルを合わせると、その項目に関する補足事項が表示されます。

(1)メニューバー

操作に関するサブコマンドが表示されます。

(2)ツールバー

メインコマンドを実行するためのボタンが表示されます。

(3)モード切替

閲覧モード⇔編集モードの切替えが可能です。

閲覧モード…適用可否判定結果を閲覧のみできるモードです。

編集モード…適用可否判定結果を閲覧、孔位置や孔径を変更できるモードです。

※クラウドサーバー上のデータは変更されませんのでご注意ください。
 (他の閲覧者には共有されません)

※変更した孔についてセンクシア(株)へ最終確認依頼を行う必要があります。

(4)型式図

ハイリングの型式・NG箇所が記載された図面が表示されます。

(5)選定表

通りや梁符号、梁の情報、ハイリングの型式、判定等が表示されます。

型式図と選定表で選択した孔はリンクします。

(6)梁や孔の詳細仕様・応力算定表

選択している孔位置の梁仕様と応力算定表が表示されます。

孔の詳細情報、耐力図を表示

をクリックすると表示されます。

(7)耐力図

選択している孔の耐力図が表示されます。

孔の詳細情報、耐力図を表示

をクリックすると表示されます。

(8)梁全体の側面図

選択している梁の全体側面図が表示されます。

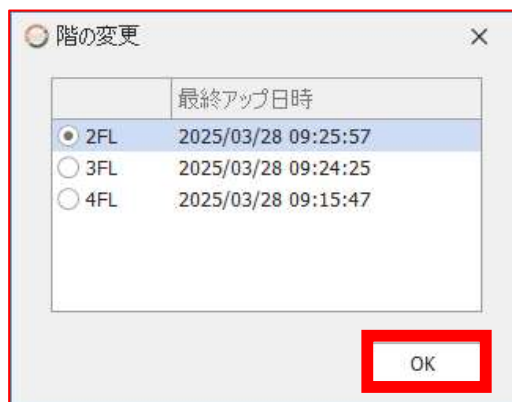
4-2. 階の変更

確認する階を変更できます。

4-2-1. ホーム画面にて「階の変更」をクリックします。



4-2-2. 「階の変更」ウィンドウから参照したい階を選択し、[OK] をクリックします。
(各階の最新の結果のみが表示されます※最新の結果以外を確認したい場合はメニューバー過去の結果よりご確認ください)



4-2-3. 選択した階の情報が表示されます。

4-3. 検討条件

ハイリングⅢ工法もしくはポジリング工法の検討条件および指定頂いた検討条件を確認できます。

4-3-1. ホーム画面にて「検討条件」をクリックします。



設計概要

ハブリック工法の型式選定に関して

ハブリック工法をご利用いただく前に、必ずカタログおよび半検計算書を一通り読下し、また、外力計算に関しては建設業者と内容をご確認の上、設計者へお問い合わせの御使用可否をご決定下さいますようお願い申し上げます。

型式は以下の設計方法に基づき選定しています。ここに記載がない適用範囲などはカタログにてご確認ください。

1. 外力の概算方法

① フロント風荷

ハブリック工法 $q = 50 \text{ mm} (32.3 \text{ 足})$ SP ステック $q = 50 \text{ mm}$

② 立風荷 q

(足間)

大梁の塑性化係数 $\alpha = 0.01$ (足間) 左記以外 $\alpha = 0.01$

$q = 50 \text{ mm} (1 \text{ 足間})$

(SP ステック)

ハブリック工法: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + r) = \frac{D}{2} - (f + S) = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

ハブリックSPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$ 共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

(足間) $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0$

SPステック: $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S + \frac{1}{2}S + 2S + 2S)$

(足間) $e_1 = \frac{D}{2} - (f + 2S)$

共通: $e_1 = \frac{1}{2} \left(\frac{D}{2} - \frac{D}{2} \right) = 0</$

4-4. 型式数量

ファイル ▾	表示 ▾	機能 ▾	過去の結果	ブラウザ版	ヘルプ ▾
 階の変更	 検討条件	 型式数量	 出力	 閲覧モード ?	 編集モード ?

4-3-2. ハイリングの型式と数量が表示されます。(閲覧中の階は色付きで表示されます。)

型式数量						
孔径	ハイリング 型式	2FL	3FL	4FL	5FL	計
φ 100	100S	2	11	14		27
	100R	26	44	56	37	163
	100R+S				1	1
	100B					
	NG		2		1	3
φ 125	125S	2	1	4		7
	125R	10	9	10	2	31
	125R+S					
	125B					
φ 150	150S	3	4	10		17
	150R	13	18	21		52
	150R+S					
	150B					
	NG	2				2
φ 175	175S			2		2
	175R			9		9
	175R+S					
	175B					
	NG			1		1
φ 200	200S			2	1	3
	200R		16	20	9	45
	200R+S					
	200B					
	NG			1		1
φ 300	300S					
	300R			6		6
	300R+S			3		3
	300B					
φ 350	350S					
	350R			2		2
	350R+S					
	350B					
φ 400	400S					
	400R		7	3		10
	400R+S					
	400B					
計	計	58	112	164	51	385

4-5. 閲覧モード、編集モード(モード切替ボタン)

閲覧モード、編集モードを切り替えます。



4-6. ファイルメニュー



4-6-1. ファイルの箇所をクリックすると下記のプルダウンが表示されます。

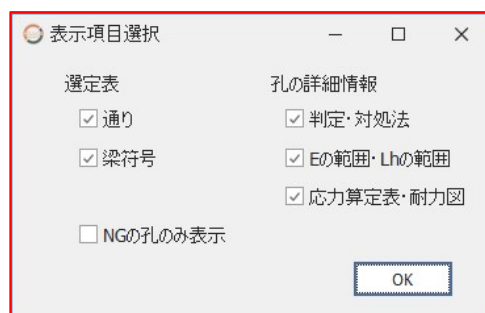


4-7. 表示メニュー

「表示」をクリックすると下記のプルダウンが表示されます。



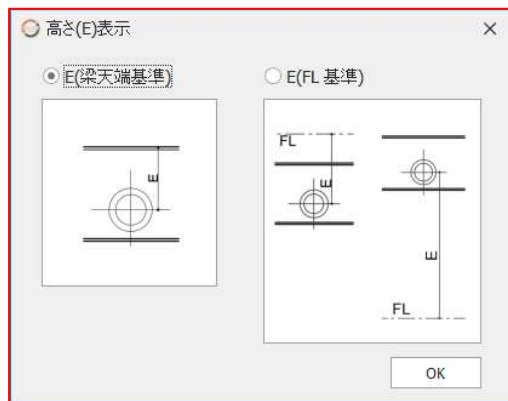
4-7-1. 「選定表表示項目」をクリックすると下記のウィンドウが立ち上がります。



デフォルトで上記のような形でチェックがされていますが、ここでチェックをつける・外すことで、任意に表示項目を増減させることができます。

4-7-2. 「高さの表示」をクリックすると下記のウィンドウが立ち上がります。



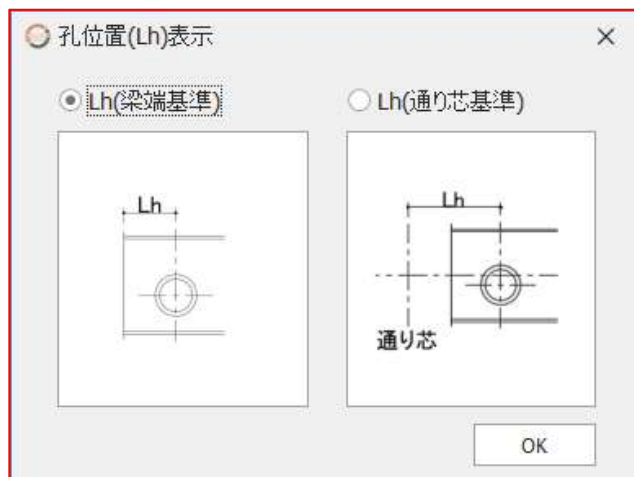


ここでは孔高さ(E)を「梁天端基準」で表示するか、「FL 基準」で表示するか選ぶことができます。

梁天端基準：梁天端からの孔芯の距離を表示

FL 基準：FL からの孔芯の距離を表示

4-7-3. 「孔位置表示」をクリックすると下記のウィンドウが立ち上がります。

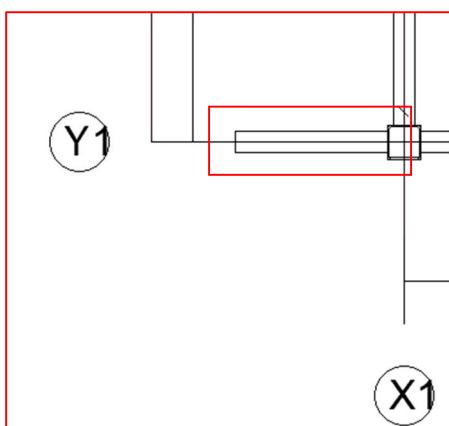


ここでは孔位置 (Lh) を「梁端基準」で表示するか、「通り芯基準」で表示するか選ぶことができます。

梁端基準：梁端から孔位置までの距離を表示

通り芯基準：近くの通り芯から孔位置までの距離を表示

下図のようなキープラン外の片持梁等は、通り芯基準の場合も梁端からの Lh となります。



4-8. 機能メニュー

「機能」をクリックすると下記のプルダウンが表示されます。



4-8-1. 「コメント」をクリックすると選定表右端にコメントチェック欄及びコメント記入ウィンドウが立ち上がります。



コメント記入

該当箇所	コメント
全体	全体に対するコメントを入力できます。
No.1-1	孔ごとのコメント
No.2-2	を入力できます。

csv出力 保存

基準)	適用型式 (仮型式)	判定	コメント
130	100R	OK	☒
230	100S	OK	☐
130	100S	OK	☒
260	100R	OK	☐

全体もしくはチェックを入れた孔にコメントの記入が可能です。(他の閲覧者も確認することができます)

記入後、保存ボタンをクリックしてください。

4-8-2. [チェック] をクリックすると、選定表左端にチェック欄が出現します。



孔ごとにチェックを入れることができます。(チェックを入れた状態で検討書を出力するとチェックも出力可能です)

チェック	No. ?	通り	梁符号
☒	1-1	B-2	G3
☐	1-2		
☒	2-1	2-B	G11
☐	2-2		
☐	3-1		

4-9. 過去の結果

過去の結果を参照する機能です。(閲覧モードでのみ使用可能となります。)

4-9-1. ホーム画面にて「過去の結果」をクリックします。



4-9-2. 過去の結果ウィンドウから参照したい結果を選択し、[OK]をクリックします。

4-9-3. 過去の結果が表示されます。



4-10. ブラウザ版(開発中)

開発中の機能となります。実装までしばらくお待ちください。

4-11. ヘルプ

以下の項目を確認できます。

- ・使用マニュアル
- ・利用規約
- ・バージョン情報

4-11-1. ホーム画面にて [ヘルプ] をクリックします。



4-11-2. 確認したい項目を選択します。

5. 編集モード

※編集モードはクラウドサーバー上のデータを変更する事が出来ません。変更しても他のシステム利用者様には共有されませんのでご注意ください。

※ 編集モードで孔情報を変更後、最終決定前に必ずセンクシア（株）へ確認依頼を行ってください。

※編集モードで作成したファイルを用いて、孔情報の変更依頼を行う際、変更した元データ（スリーブ図）も併せてセンクシア（株）へ送付いただくようお願いいたします。

ホーム画面にて「編集モード」をクリックすると編集モードが起動します。



「OK」をクリックします。



ツールバー下にコマンドが追加されます。



5-1. 孔の変更

5-1-1. 「孔の変更」を選択し、型式図上で変更したい孔にカーソルを合わせクリックします。



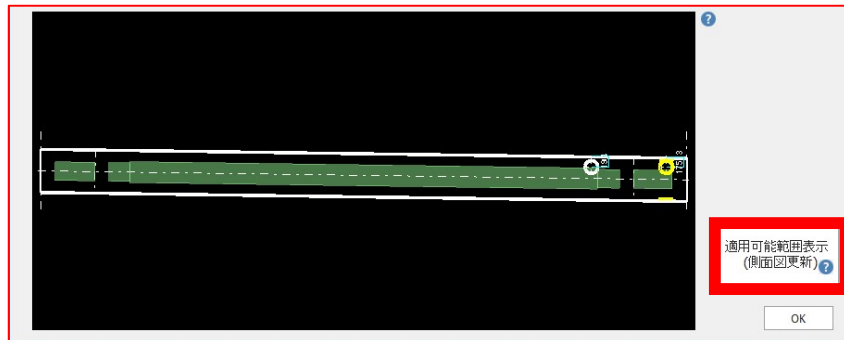
5-1-2. 孔の変更ウィンドウが立ち上がります。



5-1-3. 黄色で着色されたセル内「孔径 d」[Lh] [E] に変更後の数値を入力します。
(適用不可の項目は赤色で着色されます)

	孔径d	Lh (梁端基準)	E (梁天端基準)	(仮)型式
元の孔	200	11260	175.3	(200R+S)
変更後	200	11260	175.3	(200R+S)
適用可能範囲	200	256~975 1226~10424 10675~11369	234~566	200R+S

5-1-4. [適用可能範囲表示(側面図更新)] をクリックすると、側面図の情報が更新されます。隣接する孔との離隔判定は側面図をご確認ください。



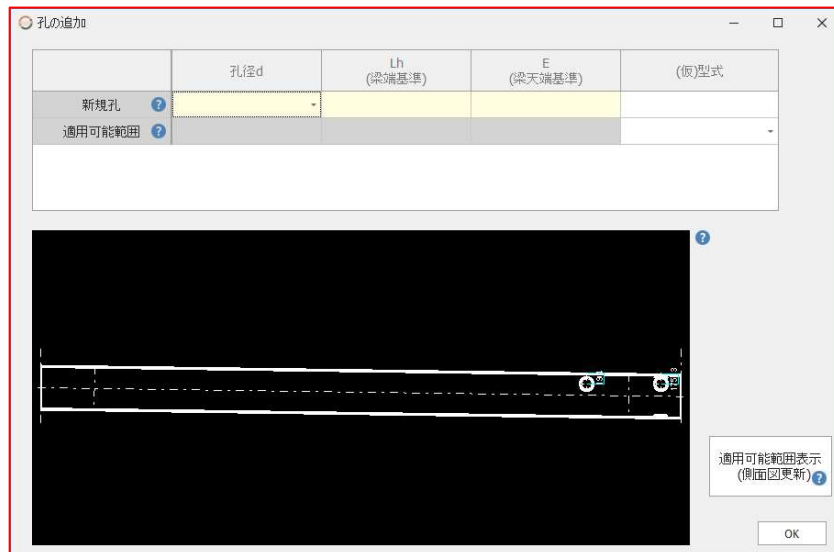
5-1-5. [OK] を選択します。

5-2. 孔の追加

5-2-1. [孔の追加] を選択し、型式図上で孔を追加したい梁にカーソルを合わせクリックします。



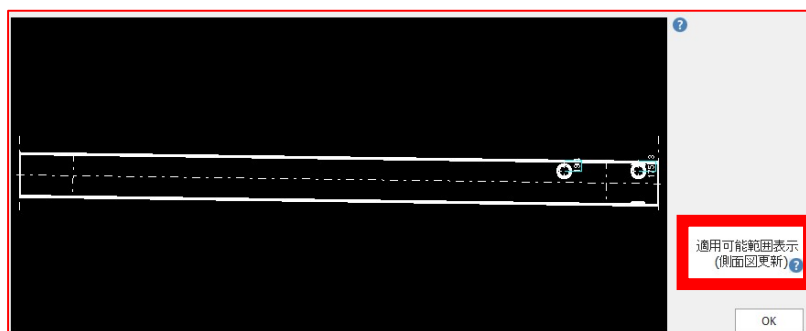
5-2-2. 孔の追加ウィンドウが立ち上がります。



5-2-3. 黄色で着色されたセル内 [孔径 d] [Lh] [E] をすべて入力します。



5-2-4. [適用可能範囲表示(側面図更新)] をクリックすると、側面図の情報が更新されます。隣接する孔との離隔判定は側面図をご確認ください。



5-2-5. [OK] を選択します。

5-3. 孔の削除

5-3-1. [孔の削除] を選択し削除したい図面の孔にカーソルを合わせクリックします。



5-3-2. 孔を指定して、確認に対して [はい] をクリックすると孔が削除されます。



5-4. 自動変更

適用不可判定がある場合、自動変更が可能になります。

※1つの梁に孔が少ないケースの使用を推奨します。

※P_NGは自動変更できません。

※変更後にP_NGとなる可能性があります。

※ハイリングⅢ(ポジリング)工法適用不可の孔は自動変更できません。



5-4-1. 「自動変更」をクリックします。



5-4-2. 「自動変更」のポップアップ画面が表示され、NG箇所(P_NG、適用不可の孔を除く)のスリーブが表示されます。



5-4-3. 最適な変更方法が提示され、「変更する」を選択すると、図面、選定表の情報が変更されます。内容を確認し問題なければ「変更する」のまま、問題あれば「変更しない」としてください。

5-4-4. 「OK」をクリックすると孔位置が変更されます。

5-5. 保存

孔位置、孔径の変更後、[保存] をクリックし、新規保存、または上書き保存をします。



5-6. 階の変更(閲覧モードと同様になります)

5-7. 検討条件 (閲覧モードと同様になります)

5-8. 型式数量

開いているファイルの型式数量のみを表示します。(他の階の型式数量を確認したい場合は閲覧モードで [型式数量] をクリックしてください)

編集モードでの孔位置、孔径変更後の型式数量になります。

5-9. ファイルメニュー



5-9-1. ファイルを開く (閲覧モードと同様になります)

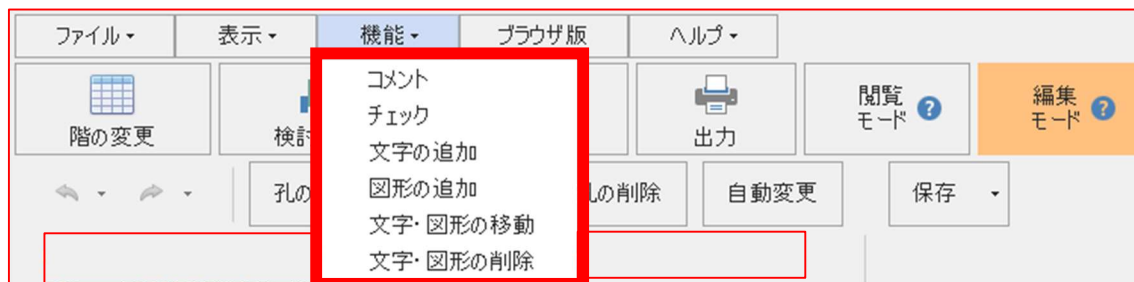
5-9-2. 保存、上書き保存 (5-5 をご参照ください)

5-9-3. 別ファイルの挿入

複数のシステム利用者様が同一 URL のファイルを変更した場合、ファイルを合体することができます。(ただし、複数のファイルで同じ孔を変更している場合は挿入できません)

5-10. 表示メニュー (閲覧モードと同様になります)

5-11.機能メニュー



5-11-1. コメント

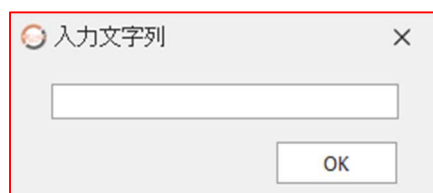
閲覧モードと同様の機能となりますが、保存先がクラウドサーバーではなく、システム利用者様の PC のため、他のシステム利用者様は確認できません。

5-11-2. チェック

閲覧モードと同様の機能となりますが、保存先がクラウドサーバーではなく、システム利用者様の PC のため、他のシステム利用者様は確認できません。

5-11-3. 文字の追加

入力文字列ウィンドウに文字を入力し、[OK] をクリックします。
図面をクリックすると文字の追加が可能となります。



5-11-4. 図形の追加

入力シートウィンドウで図形種類を選択し、詳細を設定した後、図形の追加が可能となります。



5-11-5. 文字・図形の移動

文字・図形を選択し、基準点を指定、移動先を指定すると、文字・図形を移動することが可能となります。

5-11-6. 文字・図形の削除

文字・図形を選択し、✓マークをクリックすると、文字・図形を削除することが可能となります。

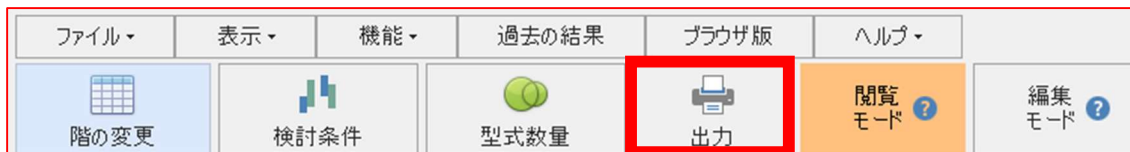
5-12. ブラウザ版(開発中)

5-13. ヘルプ (閲覧モードと同様になります)

6. 出力

閲覧モード、編集モードどちらからでも出力可能です。

6-1. ホーム画面より、[出力] をクリックします。



6-2. 出力ウィンドウが立ち上がります。左枠内の出力したい階にチェックを入れ、右から種類を選択し、[OK] をクリックします。

